



栽培計画	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
露地栽培 (寒冷地)						①	②			③		
露地栽培 (温暖地)						①	②			③		

① 種まき ② 植えつけ ③ 収穫

芽キャベツ (アブラナ科アブラナ属)

芽キャベツの和名は子持ち甘藍（かんらん）です。子持ちにちなんで、結婚披露宴の料理にも利用されてきました。しかし、スーパードパック詰めの子持ち芽キャベツを買ったことがある人でも、芽キャベツの栽培を見たことはあまりないことでしょう。

芽キャベツは温暖地で7月に種まきして、12月から翌年の2月まで収穫します。40〜60cmに直立した茎から出る葉のそれぞれの付け根に、直径2〜3cmの小結球（芽球）を約50〜100個付けます。

芽キャベツは、日当たりの良いベランダであれば鉢で栽培できます。

4号（12cm）のポリポットに4〜5粒ずつ種まきして育苗します。発芽後は順次間引いて1本立ちにし、本葉4〜5枚の苗にします。近年はホームセンターで芽キャベツの苗を購入することもできます。



芽キャベツは株が大きくなるので、10号（30cm）以上の鉢を準備します。鉢に市販の培養土を入れ、真ん中に苗を移植します。乾かないように水やりをし、1週間に1度1000倍の液肥を施します。

草丈が伸びてきたら90cmくらいの支柱を立てて誘引し、増し土して株が倒れないようにします。

10月になって結球が始まる前に、黄化した下葉を折り取ります。根元に近い芽球はよく締まらないので、上部部の芽球の充実を図るためにも、早めに取り除きます。

芽球が膨らんできたら、上部の葉を10枚くらい残し、葉で芽球を圧迫させないために、葉を折り取ります。根元から折ると芽球も取れてしまうので、葉柄は残します。芽球が結球してきたら、下部から順次収穫します。芽球は、お尻に十文字に包丁を入れて、味がよく染み込むようにして、シチューやスープなどの具に利用します。単にゆでて、添え物にもなります。

芽キャベツは年末には立派な株になります。子孫繁栄を祈って、芽キャベツの鉢をお正月の飾り物として知人に贈ると、喜ばれると思います。

JAグリーン
津店が教える！
芽キャベツ
栽培のポイント！



JAグリーン津店 城チーフ

〔施肥〕
結球する前に肥料を十分に施し、太く大きな茎を育てることがポイントです。太い茎ほど実を多く付けやすいので、特に下のわき芽が結球し始めるころには十分吸肥させましょう。

〔誘引〕
茎に結球するため、倒伏は禁物です。風当たりの強いベランダなどでは、支柱を立てて誘引しましょう。

〔害虫〕

アオムシやコナガの幼虫による被害にあいやすく、防除しないとすぐに虫がついて葉が食べられてしまいます。虫食いの葉を見つけたら幼虫を探して退治しましょう。防虫ネットを植え付け後に被せることが最も簡単な害虫対策です。

〔豆知識〕

芽キャベツはキャベツを改良した野菜で、ビタミンCはキャベツの約3倍も含まれています。ミネラルやβ-カロテンなどの豊富な栄養素も含まれるため、美肌効果や疲労回復、抗酸化作用、ガン予防効果にも期待できます。



根深ネギ

あなたも今日から 栽培名人

板木技術士事務所 板木利隆



栽培計画	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
春まき栽培			①				②					③
秋まき栽培				②			③		①			

① 種まき ② 植えつけ ③ 収穫



根深ネギの植え付けとその後の管理の要点

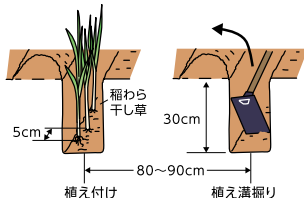
春3月に種まきした根深ネギ（白ネギ）の植え付けは、苗の太さが1cm内外に育った7月中～8月上旬が適期です。

大きく育った苗は、この頃にネギアザミウマやアブラムシなどの害虫やさび病、べと病などが発生しやすいので、苗床では殺虫剤や殺菌剤を散布して防除しておきます。ネギの葉は薬剤が付きにくいので、展着剤を加えることが大切です。

苗床から抜き取るには、根元にくわを打ち込み、根をたくさん付けるよう配慮して行います。

抜き取った苗は、大、中、小ぐらいに分けて植え付けます。こうすると畑で土寄せ、追肥をするときに、大きさに別けて行うことができ都合です。

植え付けに当たっては、まずきちんとした植え溝を作ることが大切です。列の間隔を80～90cm取り、くわ幅の30cmぐらいの深さの溝をきちんと作りましょう。



溝が崩れないよう上手に作るには、前作が終わったら前作の残さや草などを片付け、耕やさないで表面を硬くしておくことです。

大きさをそろえた苗は、階級ごとに3～4cm間隔に、壁面に立て掛けるようにして垂直に植え付けます。植えた後、根元に2cmぐら

い土を掛け、苗が倒れないよう根元を足で踏み付けておきます。その後すぐに溝いっぱい稲わら、干し草などを入れ、倒れないよう、また夏の乾燥、防曇を図ります。植え付け時には肥料はまったく与えず、もっぱら新根の発生を促します。

次は、追肥と土寄せ管理です。

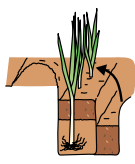
夏の暑さが遠のき始めるとネギは生育を始め新葉が増えてきます。この頃溝の肩の部分に肥料（化成肥料・有機配合など）を施し、くわで軽く土と混ぜ合わせて溝の中に落とし込みます。

9月下旬ころからは盛んに生長しますので、15～20日置きに第2回、第3回と追肥、土寄せを行います。全体的には追肥の重点は前半期に、土寄せは後半にし、長い軟白部ができるようにします。

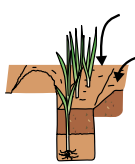
台風・強雨に見舞われたら、早めに畑を見回り、植え溝内の排水を図りま



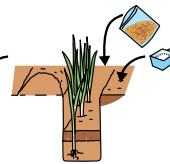
(4) 最終土寄せ



(3) 追肥・土寄せ



(2) 追肥・土寄せ



(1) 追肥・土寄せ

これからの季節に強い味方！
JAグリーン津店
オススメ商品！

・涼かちゃん

光をはね返し、とても軽く風通しがいいので熱中症・紫外線対策にオススメ

おしゃれな迷彩柄や、コンパクトにたためて携帯しやすいタイプなどがあります。



たためるハットワイドメッシュ

テンガロンハット



・ヤケーヌ

日焼け防止はもちろん、マスクの上下間に開口部があるため息苦しくなく、着用したまま飲み物も飲めます。

帽子とセットで日焼け防止効果アップ！ドット柄の可愛いものもあるので、女性にも人気です。



ぜひJAグリーン津店でお買い求め下さい。